



10月になり、朝夕が涼しく、風も冷たくなってきました。読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋などいろいろな活動に最適な季節となりました。いろいろなことに挑戦してほしいです。

【運動会結団式・10/1・火】

運動会結団式は、「赤」「白」の決まる日です。子どもたちにとっては、わくわく、どきどきの日です。赤と白に色分けされたカツオを釣って赤、白が決まりました。赤団団長は「森 あずみ」さん、白団団長は「藤原 萌愛」さんになりました。さっそく、応援リーダーの長としてリーダーシップを発揮しなければなりません。10/27まで、苦勞があると思いますが、がんばってほしいと思います。



【団長・副団長】

【PTA奉仕作業・10/5・土】

9/29(日) 予定のPTA奉仕作業が、行われました。運動場通路、除草など学校の環境をきれいにするとともに、整備していただきました。子どもたちも学習活動に気持ちよく、集中して取り組むことができます。保護者の皆様には、お忙しい中、ご協力いただき、誠にありがとうございました。



【道路整備の様子】

【運動会・10/27・日】

秋模様の下、運動会が盛大に行われました。子どもたちも練習の成果を存分に発揮しました。赤団が、W優勝をしましたが、その差は僅差でした。どちらの団も素晴らしい取組でした。ケガや事故、トラブル等もなく無事に終わることができました。PTA団技も和気あいあいの中、楽しく競技することができました。保護者の皆様には、前日準備や段取り等大変お世話になりました。誠にありがとうございました。記念に残る素晴らしい運動会でした。



【運動会の様子】

【4年生音楽発表：10/31・木】

11/6(水)に日南市小中学校音楽大会が行われます。本校で4年生が参加します。そのリハーサルで、発表会をしました。合奏「ハンガリー舞曲、合唱「どんなときも」を披露しました。練習時からすると息がぴったりと合い、美しい音色を響かせていました。本番では、多くの人の前での発表で緊張するでしょうが、これまでの努力を信じて、堂々と発表してほしいと思います。



【発表の様子】

11月の主な行事

1日(金)	鑑賞教室	16日(土)	日南市PTA研究大会
6日(水)	市小中学校音楽大会(4年生参加)	22日(金)	PTAバザー実行委員会
8日(金)	秋の遠足(1~5年生) PTAバザー実行委員会	24日(日)	南小フェスタ、PTAバザー
10日(日)	南郷ハートフル祭り(3年生参加)	25日(月)	振替休業日(11/24分)
12日(火)	避難訓練(地震津波)		
15日(金)	PTA役員会・運営委員会		

裏面もご覧ください



もちろん、生まれつきの能力の問題もまったく無視はできない。それでもやはり、これはおまけみたいなものだ。絶え間なく、粘り強く努力する。これこそ何よりも重要な資質であり、成功の要といえる。

この言葉は、「トーマス・エジソン」の格言です。トーマス・エジソンは1877年、30歳の時、蓄音機の実用化で名声を獲得。その後、メロンパーク研究室を設立します。研究所では電話、レコードプレーヤー、電気鉄道、鉱石分離装置、電灯照明などを商品化しました。エジソンは電球の発明者ではありませんが、電球のフィラメントに京都の竹を使うなどの改良に注力し、家電、発電、送電までを含む電力の事業化に成功したことが最も大きな功績です。

トーマス・エジソンは、「努力」が何より大切だと言っています。同じ結果を出すにしても努力しないで出す人もいれば努力して出す人などいます。しかし、長い人生の中で努力しない人は、充実した人生を送ることができるでしょうか？諦めたり、怠ったりなどすることはないでしょうか？つまり、「努力」とは「一生懸命に生きること」につながる重要な資質だと思います。子どもたちには、「努力」することのよさや達成感を味わい、「努力する人」になってほしいと思います。「努力」する人を尊ぶ人になってほしいと思います。世の中には、人を見かけや肩書き等で見る人がいますが、そういうことにとらわれない価値観、つまり「常に一生懸命に生きているか」、「常に努力しているか」の価値観をもった人になってほしいと思います。子どもたちが日々努力していることを考えてみますと、①毎日、学校に登校している子 ②宿題をする子 ③あいさつする子 ④スリッパや靴を並べる子 ⑤落ちているゴミを拾う子 ⑥発表する子 ⑦忘れ物をしない子 ⑧廊下をきまりよく歩く子 ⑨本を読む子 ⑩よく食べる子 ⑪係や当番活動をしっかりする子 ⑫お手伝いする子 ⑬少年団活動や習い事に通う子 ⑭家族や友だちを大切にすること ⑮よく遊ぶ子 などがああります。子どもたちには、日々努力していることを認め、励ますことがとても重要です。中には、見かけや結果などにより、勉強は苦手、運動も苦手、とりわけ何かできるわけでもないなど自信のない子がいるかもしれません。でも一生懸命に生きています。そこを認めてください。「あなたは、毎日学校に行っているよね。えらいね。それはあなたの自慢できることだよ。」「あなたは宿題を欠かさずやっているよね。えらいね。それはあなたの自慢できることだよ。」「あいさつをよくがんばっているよね。えらいね。それは、あなたの自慢できることだよ。」など。今例に挙げたことは、当たり前なことかもしれませんが、しかし、その当たり前ができていることが、実は難しいことなのです。当たり前前にできていることを褒めてください。褒められた子どもは、生きることに自信をもつようになります。そして、結果もついてきます。目に見える結果とは限りません。人生にとって幸せな結果かもしれません。子どもにとっては、「いいところ」になっていることもあるでしょう。人と比較して評価するよりも（相対評価と言います）個人の努力を評価する（個人内評価または絶対評価と言います）ことが大切です。できないことをがんばらせることもありますが、できていること、できるようになったこと、当たり前前にできていることなどを褒めてあげてください。人は、見かけや肩書きなどで極（き）まるものではないと思います。特に、当たり前前にできていることに注目して、お子さまを観てあげてください。